

浅羽野中だより 「胡桃の木」

No.16

学校教育目標 「学び 鍛え 思いやる」

～「浅中力」と身につけた生徒の育成～

令和5年10月6日 坂戸市立浅羽野中学校 校長 小林 正明

10月に入り、ようやく秋らしい気候になってきました。中間テストも終わり、胡桃祭合唱の部に向けて、各クラスで合唱練習が本格的に始まっています。今年は各クラスとも、課題曲と自由曲の2曲の合唱を披露します。坂戸市文化会館にどんな歌声が響き渡るのか、今から楽しみにしています。

〔胡桃祭 弁論大会の部〕

9月26日(火)に胡桃祭 弁論大会の部を体育館で実施しました。2学期当初の学級弁論大会で選出されたクラス代表8名の弁士(1年生:男子2名 女子1名、2年生:男子2名、3年生:女子3名)が、ステージ上で自らの主張を堂々と発表しました。その後、市内中学校英語弁論大会に出場した3名(3年生:男子1名 女子2名)の発表もありました。弁論大会の結果は次の通りです。

最優秀賞:3年生女子 優良賞:3年生女子2名

以上のように、今年に入賞者3名が全員3年生でした。最優秀賞の生徒は陸上部に所属し、通信陸上大会と学校総合体育大会の県大会では、100mハードルで予選を通過し入賞しています。結果を残すまでの努力する姿に、全校生徒が心を打たれたようです。

「諦めない心」 3年女子

「偉大な栄光とは失敗しないことではない。失敗するたびに立ち上がることにある。」これは、ゴールドスミスさんの言葉だ。私は、部活を通してこの言葉に出会った。

私は、陸上部でハードルをしていた。最後の大会では、県大会で入賞することが出来た。でも、そこまでの道のりは失敗と挑戦の繰り返しだった。

中学2年生からハードルを始め、全く出来ない状態から練習が始まった。始めは、まともにハードルを超すことも出来ず、足の歩数も全く合わなかった。でも、負けず嫌いな私は、あきらめない気持ちで練習を重ねた。すると、結果が付いてきて、ハードル間の歩数が4歩で、最後までゴールすることも難しかったのが、3歩で行けるようになり、最後までゴール出来るようになった。タイムもどんどん上がっていき、県大会が見えてきた。でも、ここからがさらに険しい道のりだった。私は、誰よりも上手くなるために、たくさんの練習会に参加し記録会に挑戦した。

ある記録会に参加した日。私は、ハードルの途中で止まってしまい、最後まで走り続けることが出来ず、タイムを出すことも出来なかった。悔しくて悔しくて、顔を上げられなかった。自分は何をしているんだ、この記録会に向けて練習してきたのにと、たくさんの気持ちが頭の中に入り混ざって、涙は止まらなかった。

でも、この記録会に参加して失敗したことにはどんな意味があるのか、考えてみた。なぜ失敗してしまったのか、どこが上手くいっていなかったのか、どうすれば出来たのか、自分に足りないことは何か、これからどんな練習をすれば良いのか。考えると、この失敗から学んだことがたくさんあった。それから参加した記録会や大会も、すべて成功ばかりではなく、失敗しては涙を流し、そのまま競技場で練習することが何度もあった。

私は、陸上をしてきた中で、たくさんの失敗をした経験がある。でも、そのたびに起き上って、努力し、また挑戦を続けてきた。私が夢だった憧れの県大会に出て入賞できたのは、失敗してもあきらめないで挑戦し続けたからだと思う。努力は必ず報われる。そんな言葉を自分の経験を通して話すことが出来る。

挑戦は、失敗がつきものだ。大きな自分の挑戦は失敗さえも輝きとなる。失敗は新たな一歩に繋がるからだ。失敗から学びを得て、次の挑戦に繋げることがとても大切だと思う。誰もが失敗をする。何かに挑戦をする時、失敗を恐れてはいけない。確かに、何もしなければ失敗はないだろう。しかし、得るものもない。でも、挑戦すれば、成功はなくても成長はある。古代の歴史もそうだ。たくさんの実験をして失敗を繰り返して、新しい発見をし、技術を身に付けてきた。挑戦と失敗がなければ今がないし、それほど世の中は発展できていないと思う。失敗があるからこそ、何かを学び、成功や飛躍に繋がっていくのだ。

私は、これからも人生の中で失敗を経験していくと思う。でも、そのたびに起き上って、学んで、挑戦し続けていきたい。失敗は終わりでも行き止まりでもない。成功への回り道なのだ。

〔表彰朝会でたくさんの賞状を伝達〕

5日(木)の学校朝会は表彰朝会の形を取り、たくさんの賞状を生徒に伝達することが出来ました。新人体育大会入間北部地区予選会で入賞した生徒の氏名は前号で掲載したので、それ以外の賞状を授与した生徒の氏名を載せました。

【新人体育大会入間北部地区予選会】

1位から3位に入賞した生徒氏名及び部活名は前号で掲載済み

【第48回坂戸市民体育祭】

<剣道>中学生女子団体の部 3位

中学生女子2部(個人) 2位 2年女子 3位 2年女子

<バレーボール>中学生女子の部 3位

【坂戸市内技術・家庭科発明創意くふう展】

〔優秀賞〕 3年：男子1名 2年：男子1名

〔優良賞〕 3年：女子1名 2年：男子1名、女子1名

1年：男子4名、女子3名

【入間地区児童生徒発明創意くふう展】

〔優良賞〕 3年：男子1名「水とうの口も洗えるスポンジ」

2年：男子1名「木くずキャッチャー」

【坂戸市小中学校読書感想文コンクール】

〔入選〕 3年：男子1名、女子1名 1年：男子1名